



図書館員のおすすめ

『生物はウイルスが進化させた』
武村政春著、講談社、2017.4.

巨大ウイルス研究からの最新ウイルス学入門書です。
そしてこの研究成果から、「生物」の定義と最新仮説
「細胞核ウイルス起源説」に迫ります。

紹介者：中村



あなたも私も、ウイルスの子孫？
1F 文庫・新書：ブルーボックス B-2010 (408//B59//2010)



1階 月別展示

4・5月
大学生活リアル攻略本
TOSHOKAN QUEST
大学生生活を始める楽しむ
ダウンロード中.....

大学生活 + 図書館 = ?
図書館探索イベント 開催中

チャレンジャー 募集中



インフォメーション



みんなのスマホに 図書館がキター(°▽°)ー!!

【速報】電子図書館始めました【超朗報】

電子書籍貸出サービス、LibrariE (ライブラリ工) が登場しました。以前から要望が多かったラノベやレシピ集など様々な書籍を取り揃えています。ぜひお手元のスマホから『別館』として、お楽しみください♪



電子図書館 入口

ココ 入口
ラノベも あるゾ



発行：城西大学水田記念図書館
350-0295 TEL:049-271-7736 mail: library1@josai.ac.jp
埼玉県坂戸市けやき台1-1 FAX:049-286-8126 URL: https://ibopac.josai.ac.jp/

P.1 巻頭言 P2-3. 特集「図書館へ行ってみよう」 P.4 インフォメーション ほか



これからの学び、そして学修について

水田記念図書館長 薬学部教授 関 俊暢

映画「AI崩壊」(監督・脚本 入江悠:小説版、浜口倫太郎著、講談社文庫)が公開され話題になりました。内閣府は、これからの社会をSociety 5.0として、IoT、AI、ロボットなどが活用される新しい価値観がうまれる社会と表現しています。しかしこの社会が、我々全てに等しく幸せをもたらすものであるとはいいい切れず、AIの発達により多く職種が消滅し、多くに人が職を奪われるということは以前から指摘されていることです。もしそれが真実であるならば、Society 5.0時代の人材育成のあり方について、今大学は十分に議論し、教育の改革に真剣に取り組むべきです。従来の知識獲得型の学習は、情報社会において既に価値を失いつつありますが、多量の教師データをAIが処理する機械学習は、近い将来、熟練した職業人の経験や勘なども上回る可能性が予想されています。従って、人々が高等教育によって獲得すべき能力は、単に高度な能力であるだけでなく、感情のような数値化できないものの取り扱い、対立する価値観間の調整など、答えが明確でない事項に継続的に関わるような資質・能力を含むものである必要があり、その涵養、すなわち人間力の育成に教育の目標や内容をシフトしていかなければならないと思われます。またその実現のためには、教場における学習から現実の場における経験に基づく学修に教育の中心を変化させることが必要です。その学修の成果を評価していく新しい尺度や仕組みを開発することも急務であると考えられます。AIの発達に抗して社会に有為な人材を育成するためには、人とは何かという哲学の部分的議論を回避できないのかも知れません。「AI崩壊」は物語としては人間的なものでした。AI自体の倫理のようなことを考えるのなら、「オリジン」(ダン・ブラウン著、越前敏弥訳、角川文庫)もおすすめです。

もう一冊最近読んだ本でお勧めが「皇帝フリードリッヒ二世の生涯」(塩野七生著、新潮文庫)です。

神聖ローマ帝国皇帝であるフリードリッヒ二世(1194~1250年)については、医薬分業、もしくは薬剤師の職能の生みの親として薬学概論の授業などで取り上げられる人なのですが、本書ではそのことは触れていません。ただ、ローマ法王に対抗し、政教分離と法治国家の建設に邁進したその激しい人生をみると、毒薬による暗殺を避けるため医薬分業を発案したとする説明には強い説得力があります。塩野氏は、「苦難に出会うのは、何かをやりようとする人の宿命である。苦難を避けなければ、何ごともやらない生き方を選ぶしかない。ゆえに問題は、苦難に出会うのではなく、それを挽回する力の有無になる。」と述べていますが、これは今学び成長する過程にある学生や若い教員にとって価値ある知見に思われます。

上述の通りこれから求められる能力の獲得には経験の蓄積が必要です。しかし、教育プログラムとして提供される経験や自身が実際に体験する有意事象(Significant Event、何らかの感情を惹起する出来事)の数は限られています。医学教育の分野では、映画を利用したシネメデュケーションという手法が用いられています。教員は学生に、その映画で君は何を観、何を聴き、何を感じたのか、そしてそれは将来の自身の医療行為においてどのような影響をもたらすのか、を問い掛けます。フリードリッヒ二世の生涯を自分に投影することはさすがに難しいかも知れませんが、多くの優れた小説や映画において、主人公は困難な状況に置かれ、その状況に自身を置いてみることは、自分が必要なことを見つけ、人として成長する機会となることは、ご同意いただけることと思います。水田記念図書館では、各学部および短大の教育研究に用いる専門書だけでなく、文学作品の蔵書にも力を入れています。それらを、皆様の学び、そして学修に活かしていただければと想っております。

(原稿受理日:3月26日)



図書館彙報

3/10 2019年度第3回図書館合同(運営・選書)委員会 メール会議を実施
3/10 2019年度第1回JURA委員会 メール会議を実施

3/18 新型コロナウイルス感染症対応による短縮開館開始
3/26 鶴ヶ島市図書館協議会に出席



図書館を活用して
大学生活を楽しもう♪

開館日程について

新型コロナウイルス感染症の状況により、
開館日程は変更になる可能性があります。
図書館HPにてご確認ください。

図書館へ行ってみよう!



Learning Space 一人でもグループでも 多彩な学習スペース

グループで会話をしながら利用したい場合は、4階、6~8階へ。他にも5名以上で利用できるグループ学習室や、1人で集中できる個人閲覧室、AV視聴席、PC席もあります。



7・8階は2年前にオープンした新エリア、ラーニングcommons。開放的なオープンスペースです。

How To Borrow 貸出・返却は1階カウンターへ

借りたいとき

学生証は重要アイテム 借りたい資料と学生証を持ってきてください。



先生のおイチオシ

1階教員おすすめ図書 先生が選ぶ「皆さんへ読んでもらいたい」本のコーナーです。バラエティに富んだものがたくさん並んでいます。



図書リストをWebで公開中

貸出期間

	図書	雑誌	AV資料
1~3年生	2週間 (5冊)	1週間 (5冊)	2週間 (5点)
卒業年次生 大学院生 薬学部早期研究室配属生 & 4~6年生	90日間 (10冊)	1週間 (10冊)	2週間 (10冊)



Learning Support 調べものや学習について気軽に相談できる 図書館員と学生アドバイザー

資料探しのプロ「図書館員」にきいてみよう

困ったら図書館員へ レポートにどの資料が役立つのか、資料をどうすれば効率的に探せるか、著作権についてのことなど、専門知識を持った図書館司書が優しくサポートします。



そのレポートを書くならまず3階の本を読むと良いでしょう。データベースも役立ちますよ。



講演会やデータベース講習会、アドバイザー主催のイベントもあります。開催予定はホームページやJUナビをチェック! @lib_josai 図書館twitter @lib_advis アドバイザー

学生アドバイザーは頼れる先輩

1・3・7階にアドバイザー相談席 教員の推薦を受けた学生・大学院生が図書館員と一緒にサポートします。「探している本が見つからない」「PCの使い方が分からない」など、気軽に相談してください。



お探しの本はこちらにありますよ。